

# 舟入探究日誌 第12号 (10月25日)

## ～芸術と平和：芸術科/家の先生方の生き様にふれる～

みなさんこんにちは！探究委員会1年生のNです。

みなさんは、何か伝えたいことがあった時、どのような方法で伝えますか？

絵を描いたり、歌を歌ったり、書き物をしたり、と様々な方法が考えられると思います。

それらは、美術、音楽、書道などの芸術です。

私たちは、その何かを芸術を使って伝えることができます。

そして、芸術を通して受け取ることもできます。

さて、先程から『何か』とぼかした表現をしていますが、ヒロシマに住む私たちなら、自然と伝えたいくなるものがあると思います。

そう、平和です。

私たちには平和を伝えていくという権利があります。

どんな方法で伝えていきたいですか？

しかし、あくまでも権利ですので、平和という大きなものを伝えるも伝えないも自由です。

ヒロシマに住んでいるのだから、絶対伝えないといけないということはありません。

受け取り手も同じです。

平和についてのものを見た時に、思いを受け取るか受け取らないか自由です。

作品というものは、作り手の意図、思い、伝えたいことがあり、それが伝わって初めて作品になるのだそうです。

そんな作品が増えていくと、平和に繋がるのではないのでしょうか。

作り手、受け取り手の自由が重なり、平和という作品ができたら素敵ですね。

それでは、次回の探究日誌で！たーんQ！！



